



出向組合員の業績考課P1 は出向先会社の評価では無い ことが判明しました！

不当な評価を直ちに撤回せよ！

2025年度上期業績考課ランク実績で出向のJR東海労組合員が理由不明の「標準を下回る業務貢献であった」としてP1評価が通知されています。会社はその根拠について「出向先会社の上司の評価をもとに判断した」と主張しています。

そこで、直接出向先の上司に聞いてみました。

①警備会社A社本部長

「本来は隊長が書くのだが、隊長は何と書いて良いかわからないと相談を受け私が書いた。仕事上(警備員)の評価は苦情等もなく決められた事はキッチリやってる、大変助かっているというような事を書きました」「書いた書面を送ったが、JRの方と直接話はしていない、また、この件でJRから何も言われていない」

②関連会社B社副所長

組合員「JRからの出向者の業績考課ランクどう決めてるの？」

副所長「？」

組合員「P1とか2とか」

副所長「振り返りシートは(関連会社)本社に送った。あとは分からない」

組合員「あなたが私をP1評価にしたんじゃないの？」

副所長「ちがうよ」

このように「出向先会社の上司の評価をもとに判断した」という説明は真っ赤な嘘であることが判明しました。業績考課は「出向先会社の上司の評価」ではなく会社が勝手に判断していることは明らかです。

他労組組合員も理由不明のP1評価をされている方がいます。

私たちは不当な考課の撤回を求めてさらに闘います。